

# 令和4年度 中学生体験学習 実施要項

## 1. 目的

紀北農芸高等学校の施設・設備を中学校生徒に開放して、農業教育についての体験学習を実施するとともに、実習風景や校内施設の見学等をおこなうことで、本校の学習内容についての理解を深め、中学校における進路指導の充実に資する。

2. 実施日 令和4年11月12日（土）

3. 場所 県立紀北農芸高等学校 伊都郡かつらぎ町妙寺1781

## 4. 日程

12:50	～	13:10	受付
13:20	～	13:50	オリエンテーション
14:00	～	14:40	体験学習①
14:50	～	15:30	体験学習②
15:30	～	15:40	感想文・アンケート記入
15:40	～	15:45	閉講式・解散
15:45	～		個別質問（希望者のみ）

（注）日程は一部変更することがあります。

時間	13:20～ 13:50	14:00～ 14:40	14:50～ 15:30	15:30～ 15:40	15:40～ 15:45	15:45～
内容	オリエンテーション	体験学習①	体験学習②	感想文・アンケート	閉講式・解散	個別質問 ※希望者のみ

## 5. 体験学習の内容

裏面参照

- ① 販売 [出荷調整]
- ② 食品製造 [加工食品の製造]
- ③ 草花 [花苗の寄せ植え]
- ④ 野菜 [野菜の播種]
- ⑤ 果樹 [果実の観察と糖度測定]
- ⑥ バイオテクノロジー [クリーンベンチ上での操作]
- ⑦ 機械 [工作機械と溶接]
- ⑧ 土木 [土木基礎実習]

※天候等諸事情により内容を変更することがあります。

## 6. 参加対象

中学校第3学年で、農業に興味や関心をもつ生徒及び保護者、並びに中学校教職員（参加生徒のない学校にあっても、教員又は、保護者だけでも参加いただけます。）

## 7. 参加申し込み

申込期限 令和4年10月14日（金）  
申し込み方法 ア、イどちらかの方法でお申し込み下さい。

ア 県立・市立高等学校（体験入学・学校説明会）参加申込統一用紙から下記のアドレスにお送り下さい。また、保護者引率がある場合については、備考欄に保護者氏名を記入下さい。

アドレス：tani-s013@wakayama-c.ed.jp

イ 同封の中学校体験学習参加申込書を記入の上、下記あてに郵送でお申し込み下さい。

〒649-7113 伊都郡かつらぎ町妙寺1781  
紀北農芸高等学校 中学生体験担当係 谷  
TEL 0736-22-1500 FAX 0736-22-1501

## 8. 服装等並びに持参品

- ・体操服 安全の為、上下長袖着用で登校していただき体験学習に参加して頂きます。制服では体験学習に参加できません。また、長袖がない場合は体操服の半袖等作業のしやすい服装でもかまいません。必要な場合は帽子もご持参ください。
- ・運動靴 作業しやすい靴を履いて来てください。
- ・上靴 体育館入場用にご持参ください。
- ・筆記用具 ・飲み物 ・タオル

## 9. その他

- ※新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用をお願い致します。
- ※参加者の方に必ず自宅で朝の検温をお願いします。当日に発熱がある場合は参加することはできません。あらかじめご了承ください。
- ※当日午前7時現在でかつらぎ町に「暴風警報」「大雨警報」「洪水警報」のいずれかが発令されている場合は、中止いたします。また、在住地域に上記警報が発令されている場合は、中学校でご判断下さい。
- ※当日、かつらぎ町に警報の発令がないときでも、午前7:00現在、中飯降駅に向かうJR和歌山線の上下線のいずれかで運行を見合わせており、運行再開の見込みが立たない場合は、体験学習を中止します。

## ◎ 体験学習内容

- ①販売…農産物のパッキング（関係学科…生産流通科）  
農産物のパッキングを体験することで、スーパーマーケットや農産物直売所などに陳列されている農産物の流通の一端について学習します。
- ②食品製造…加工食品の製造（関係学科…生産流通科）  
農産物を利用し、加工を行い、保存性を高める基礎的な学習を行います。
- ③草花…花苗の寄せ植え（関係学科…施設園芸科）  
鉢への寄せ植え作業を行い、草花の装飾について学習します。
- ④野菜…野菜の播種（関係学科…施設園芸科）  
秋野菜のたねまきを体験し、苗づくりの大切さを学習します。
- ⑤果樹…果実の観察と糖度測定（関係学科…施設園芸科）  
秋の果実（カキ、ミカンなど）の形態を観察し、品質決定の重要な要素である糖度の簡便な測定方法を学習します。
- ⑥バイオテクノロジー…クリーンベンチ上での操作（関係学科…施設園芸科）  
バイオテクノロジーとは、これまで利用されていなかった生き物の隠れた力をうまく利用して、私たちの生活を豊かにしようとする技術です。  
私たちの生活のあらゆるところで用いられているバイオテクノロジーのおもしろさについて、学習します。
- ⑦機械…工作機械と溶接（関係学科…環境工学科・機械コース）  
工作機械の基本運転操作と、溶接の安全作業について学習します。
- ⑧土木…土木基礎実習（関係学科…環境工学科・土木コース）  
製図実習、鉄筋の破壊実験の測定を学習します。

## 教育目標

学力の充実  
豊かな人間性の育成  
社会性の向上

## ◎本校各学科の紹介及び専門科目

- (1) 生産流通科  
「食品製造」コースでは農産物加工品の開発・製造の知識や技術を習得し、オリジナル製品の商品化を目指します。  
「販売流通」コースでは販売活動を通じて消費者のニーズを把握し、消費者の購買意欲を促進できる販売活動を目指します。  
生徒が充足感や達成感が得られる授業や実習を展開し、それぞれの分野で活躍できる人材の育成を目指します。  
《専門科目》（食品製造コース・販売流通コース）

農業と環境	課題研究	総合実習	農業と情報
食品製造	食品微生物	食品製造基礎	食品製造応用
販売流通基礎	販売流通応用	農業経営	食品流通
市場調査	販売管理		
- (2) 施設園芸科  
草花、野菜、果樹など、園芸作物の栽培知識・技術を習得させるとともに、農業が私達の生活と、環境に深く結びついていることを理解させる。環境に調和した農業の必要性を知り、実践するための能力を持った農業技術者の育成を図る。  
《専門科目》

農業と環境	農業と情報	栽培と環境	植物バイオテクノロジー
栽培機械	マーケティング	草花	野菜
総合実習	課題研究	基礎実習	果樹
- (3) 環境工学科  
農業に関する関連産業学科であり、1学年より土木・機械の2コースに分かれて学習し、それぞれの専門性を深める。
  - 機械コース  
農業機械を基礎とし、環境への影響を考慮した創造性豊かな「モノづくり」ができるように学習を深める。農業機械を中心に機械の仕組み・構造・作動原理や保守点検等の基礎的な知識・技術に加え、機械設計・機械製図等により専門的な知識や技術を習得させ、さらに、環境科学の内容を取り入れ、環境に配慮した効率的な作業機械を創造できる技術者を育成を図る。  
《専門科目》

農業と環境	課題研究	総合実習	農業と情報
農業機械	実用基礎演習	工業環境技術	製図
機械工作	機械設計	生産技術	
  - 土木コース  
土木工学の基礎に加え環境科学の内容を取り入れ、自然と共生できる環境型社会の建設を目指した学習を深める。測量や設計に関する基礎的な知識や技術に加え、都市整備・土木構造設計・施工・CAD製図等、より専門的な知識や技術の習得を目指し、快適な環境を創造する観点から社会基礎工学を学習することで、新しい時代の要請に応えられる技術者の育成を図る。  
《専門科目》

農業と環境	課題研究	総合実習	農業と情報
測量	土木リテラシー	土木基礎力学	土木構造設計
土木施工	社会基盤工学		